

飲食オーダーシステムを導入し オペレーションの効率化を図る



▲店長の稲嶺彰人氏

パチンコホールをコンバージョン 飲食事業に次ぐ事業として開設

沖縄本島の南北をつなぐ幹線道路である国道58号沿いで営業する「カラオケワールドももたろう」。経営にあたるのは沖縄そばなどの飲食事業を手掛ける(有)真誠産業だ。真誠産業の親会社でパチンコホールを展開する丸真産業(株)が飲食に次ぐ新規事業としてカラオケ事業に着目し、2010年7月、パチンコホールをコンバージョンして開設した。

同店のルーム数は23ルームで中規模であるが、最大の特徴は料理メニューの充実だ。レストラン事業を展開している強みを活かしたかたちだが、カラオケ店としてはめずらしく、専属の料理人が2人で料理を提供している。なかでも力を入れているのが宴会プラン。たとえば3時間歌い放題の3,000円コースでは、シーザーサラダ、魚介のカルパッチョ、五目炒飯、特選サーロインステーキ、海鮮天ぷら盛りなど7品の本格的料理を提供。飲み放題プラン(アルコール飲み放題2時間平日1,500円)も用意し、地域の宴会需要を積極的に取り込んでいる。宴会メニューは夏と冬でコース内容を変えているが、12月の繁忙期には1か月で100件以上の宴会が入るといふ。

「スーパースターシリーズ」 とは

(株)スターランドが開発・販売するPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケボックスほか、複合カフェ、温浴施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。

また、3時間歌い放題でフリードリンク付きの「ランチカラオケ」にも力を入れており、日替わりランチ定食、白身魚の甘酢定食、チキングリルプレートなど多数のランチメニューをラインナップし、好評を博している。

すでに利用しているカラオケ店から 評判を聞きつけ、導入に踏み切る

カラオケワールドももたろうがスターランドの「スーパースターシリーズ」のPOSシステムならびに飲食オーダー端末を導入したのは2015年10月。導入経緯について店長の稲嶺彰人氏は次のように語る。

「人手不足がいらわれていますが、カラオケボックスには本当にアルバイトが集まりません。店が広くルーム数も多いので業務はハードですし、酔ったお客様にも接客しなければなりません。せっかくアルバイトが決まって来てもらっても、仕事がついたため長続きしないのです。当店では毎年、求人広告費に年間50万円から60万円かけていましたが、応募者はほとんどいませんでした。少人数でも効率的な運営ができないか悩んでいたときに、私の知合いのカラオケ店長からスーパースターを導入して効果が上がっていることを聞きました。インターフォンを



▲パチンコホールをコンバージョンした「カラオケワールドももたろう」。敷地内にはグループ企業が経営するパチンコホールが営業する



▲各ルームの稼働状況が一目でわかるフロントPOSシステム



▲宴会利用が多い同店では、オーダー端末の導入効果は高い

取ることが大幅に少なくなり、スタッフの業務が軽減されるので、当店にも導入したいと会社に提案しました。

スーパースターの導入から約1年が経過するが、その効果は大きいと稲嶺店長は話す。入店の受付時とルームへの案内時に料飲の注文はオーダー端末であるよう根気よく丁寧に説明してきたことでオーダー端末からの注文が約8割に達し、オーダー業務の大幅な改善が実現している。その結果、スーパースター導入前は、平日3人、週末4人のスタッフ態勢で営業に臨んでいたが、現在はそれぞれ1人少ない人数での運営が可能となり、人件費の削減にもつながっているという。

これから年末にかけて一年で最も忙しい繁忙期を迎えるが、同店ではスーパースターを活用しながらサービスの向上に努めていくとしている。

問い合わせ

(株)スターランド
【本社】静岡県藤枝市青木3-14-1
【東京オフィス】東京都千代田区神田鍛冶町3-7-21

☎ 0120-007-009
FAX▶ 054-644-5034
URL▶ <http://www.starland.co.jp>